



4月に富津市観光大使に就任した、プロサクソプレーヤーの「WaKaNa」さんによる第21回議場コンサートが、6月12日の定例会一般質問の前に開催されました。「Follow Me」、「朧月夜」、地元富津市をイメージして作った「hometown」の3曲を披露していただきました。アルト及びソプラノサクソの軽快なメロディーが議場全体に響き渡り、ムーディーなひと時を過ごしました。



第3回 富津市民花火大会

写真提供 下飯野・茂木健一さん

富津絶景³¹

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

6月定例会・条例改正等…… 2～3 P

議決結果…………… 4 P

全員協議会…………… 5～7 P

個人質問…………… 8～11 P

トピックス、定例会日程…………… 12 P

6月 定例会

◆ 条 例

▼ 個人情報保護条例の一部改正

個人情報情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関係する規定の整備をするため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険事業の運営に関して、被用者保険等保険者の意向を

平成29年6月定例会は、6月6日から23日までの18日間で開催されました。議案27件、請願2件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

反映させるよう、国民健康保険運営協議会の委員に当該保険者を代表する委員を加えるため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、国民健康保険税の減額の対象となる所得金額の算定において、被保険者等の数に乘すべき金額の引上げを行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 安全・安心な海水浴場等の確保に関する条例の制定

市内の海水浴場等の利用に關し、市及び利用者の責務を明らかにするとともに、必要な事項を定めることにより、公衆の危険防止並びに海水浴場等の衛生保持及び秩序維持を図り、もって安全で安心な海水浴場等を確保するため、条例を制定するもので、全員の賛成で可決しました。



富津海水浴場

◆ 補正予算

▼ 平成29年度一般会計補正予算

〔建設経済部所管〕

有害鳥獣処理設備実証実験の実施に伴う農作物被害対策事業、波浪により被災した水産業施設の災害復旧事業等に係る経費及びこれらに関連する歳入を計上すると



更新予定のスクールバス

〔健康福祉部所管〕

児童福祉費補助金の増額については、ひとり親家庭等自立支援給付費の給付申請が新たに2人からあり、更に申請相談が2人からあったことに伴い、母子家庭等対策総合支援事業補助金を補正するものです。児童福祉寄附金の増額については、共栄運輸株式会社からの寄附金の内、210万円を児童

もに、債務負担行為の補正をしようとするもので、全員の賛成で可決しました。

〔教育部所管〕

共栄運輸株式会社から児童福祉及び教育振興を目的とした1千万円の寄附金の一部790万円により、児童・生徒の通学のためのスクールバス1台を購入するもので、全員の賛成で可決しました。

福祉寄附金として計上する補正です。社会福祉総務費の繰出金の増額については、国民健康保険運営協議会の委員に委員1名を加えることに伴い、繰出金を増額する補正です。母子等福祉費の扶助費の増額については、歳入にもあるように、ひとり親家庭自立支援給付費を増額する補正です。保育所費の備品購入費の増額については、寄附金を財源として、市立保育所の屋外遊具を更新するための増額補正で、全員の賛成で可決しました。

〔国民健康保険事業特別会計補正予算第1号〕

この補正は、国民健康保険運営協議会の委員に、被用者保険等保険者を代表する委員1名を加えることに伴い、増額補正をするもので、全員の賛成で可決しました。

◆ 請 願

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

（提出者…子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 齋藤 晟）

この請願は、平成30年度予算編

成にあたり「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」を採択し、政府及び関係行政官庁あてに意見書の提出をするもので、全員の賛成で採択されました。



子どもたちの健全育成と豊かな教育には教育予算の充実が必要不可欠

▼「国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

（提出者…子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 齋藤 晟）

この請願は、平成30年度予算編成にあたり、憲法・子どもの権利

条約の精神を生かし、子どもたちによりよい教育を保証するため、「国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書」を採択し、政府及び関係行政官庁あてに意見書の提出をするもので、全員の賛成で採択されました。

◆ 人事案件

▼農業委員会委員の任命

区分	氏名	住所
新任	稲村 耕一	青木
再任	磯貝 昭一	山中
新任	大後 護	二間塚
新任	神子 恒	台原
新任	川口 寛市	竹岡
新任	小柴賢次郎	寺尾
新任	澤邊 治之	笹毛
新任	白井 和子	志駒
新任	鈴木 伸江	西大和田
新任	鈴木 昇	中
再任	平野 弁一	千種新田
新任	茂木比呂志	豊岡

▼人権擁護委員候補者の推薦

再任	森田 泰彰	青木
再任	渡邊 和己	不入斗

任期は、平成29年7月14日から平成32年7月13日までの3年間で

▼教育委員会委員の任命

区分	氏名	住所
再任	島田 秋雄	小志駒
再任	石井 朝子	千種新田
再任	生駒 明仁	金谷
再任	平野 都	篠部
再任	岡根 敏晴	鶴岡

任期は、平成29年10月1日から平成32年9月30日までの3年間で

再任	小坂 洋子	富津
----	-------	----

任期は、平成29年7月2日から平成33年3月31日までの3年8カ月間です。



平成29年6月定例会の 議決結果



※議案27件、請願 2 件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦議長
税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
安全・安心な海水浴場等の確保に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること（5件）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
農業委員の任命につき議会の同意を求めること（14件）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書	原案報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度水道事業会計予算繰越計算書	原案報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専決処分の報告（3件）	原案報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願	原案採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国における平成30（2018）年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	原案採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

全 員 協議会

全員協議会とは、必要に応じて議員が一同に介し、様々なことを議論する場であり、主に2つの形式のものが行われる。

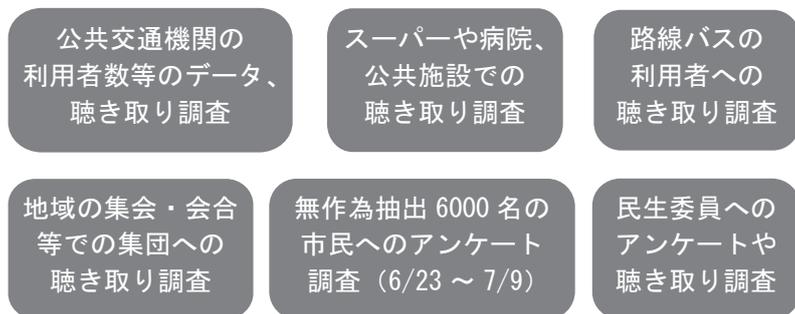
(1) 自主的な意見交換の場

議会主体の行事や運営・活動について協議したり、近く開かれる議会に懸案になっている問題の提案が予想されるような場合、議会内部の意見交換を行う。

(2) 市執行部が意見を求める場

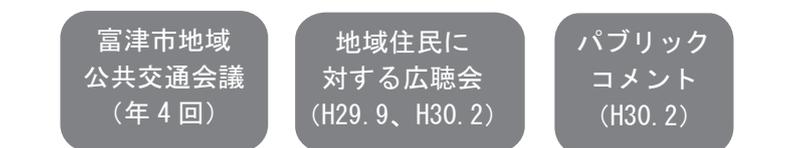
行政上の重要問題等について、市執行部が議会の意見を聞くための場。協議の対象は、行財政運営上の重要問題とか、議会に提案予定の案件について、事前に説明を議員の質疑を受け、計画策定の参考にする。

《交通機関運営状況データ及び利用実態データの収集・整理》



平成 29 年 8 月中まで調査を行い、9 月までに調査結果をまとめる

《市民説明会及び有識者会議で、調査結果の説明・意見を求める》



平成 30 年 3 月末には、地域公共交通網形成計画を策定する

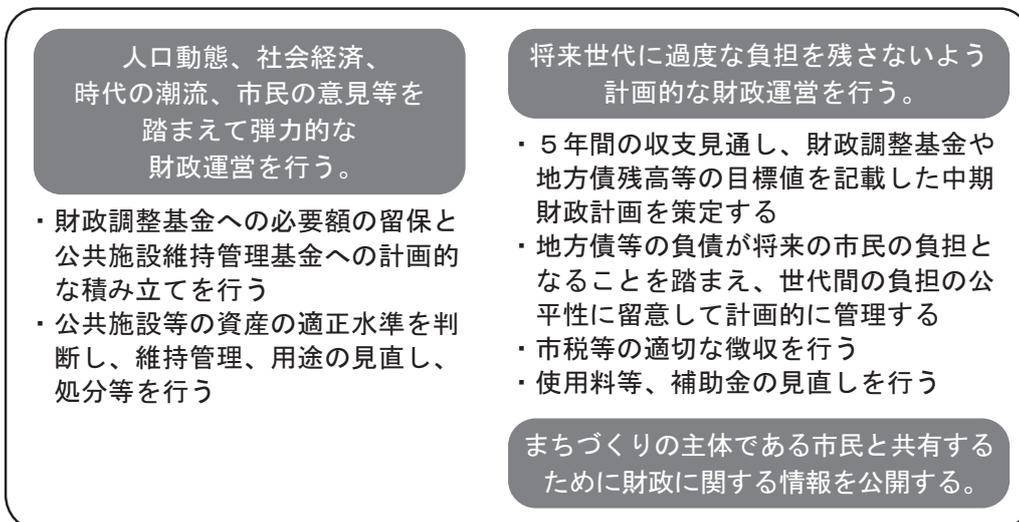
少子高齢化や自家用車の普及等により、路線バス利用者等の減少が続き、バス路線を初めとした市内の公共交通網は、過去20年間その形を大きく変えていないことから、現在の要望に沿ったものでないことが考えられる。路線維持のための市の負担金の増加等の問題も解決するために、市は市民の声を広く集め、新たな交通網を形成する計画を策定している。

公共交通網形成計画の
策定スケジュール

《議会からの意見》

- ・スケジュールありきの進め方では本当に公共交通を必要としている市民の声を拾いきれないのではないかな。
- ・コンサルタント任せでは、地域の要望を把握できないので、市職員も一緒に調査すべきである。…等

《条例の概要》



経営改革会議やパブリックコメントの意見を受け、条例(案)を修正再度パブリックコメントを求め、平成 29 年 9 月定例会にて制定予定

将来にわたり持続可能な行政経営の実現に向け、市の財政運営に関し、基本理念及び基本となる事項を定め、財政規律の維持及び向上を図り、健全な財政運営に資することを目的とした理念条例。

富津市健全な財政運営
に関する条例(案)

(仮称) 木更津市火葬場
整備運営事業の進捗状況

人口減少、少子高齢化の進展といった社会情勢の変化、多様化・高度化する行政需要への対応、国・県からの権限委譲の進展、公共施設の老朽化への対応など、今後の自治体運営は、これまで以上に厳しい財政状況となることが予想されている。

このような状況のもと、効率的な行政運営を確保しつつ、今後の公共施設を整備していくためには、広域行政の推進が有効な手段であることから、下記のようなスケジュール・負担割合で、この計画を進めている。

《議会からの意見》

- ・建設設計費、建設工事費及び周辺道路工事費を合わせて40～50億円程度だと推測されるが、4市均等割負担(25%)と人口割負担(約14%)とでは、その負担額は4～5億円程度の差が出る。もし建設工事費等も4市均等割負担という話になると、合同火葬場にする経済的スケールメリットが感じられなくなってしまうので、しっかりと交渉して欲しい。…等

事業名	実施期間(予定)	金額(千円) ()は富津市負担	協定・予算	
基本構想策定事務委託	H28.6-H28.12	4市均等割 7,344(1,836)	H28.2協定締結済 H29.3補正予算	
PFI導入可能性業務委託				
現況測量業務委託	H29.2-H29.12	4市均等割	4市協定締結 (H29.7) 補正予算審議予定 (H30.3定例会)	
境界測量業務委託				
環境影響調査業務委託				
基本計画策定業務委託				
地質調査業務委託				
工事道路調査・設計業務委託				
PFIアドバイザー業務委託				
不動産鑑定評価業務委託	H29.7-H29.8			木更津市単独負担
補償物件調査業務委託				
用地購入				
物件補償	H30.1-H30.3			
基本設計・実施計画				
新火葬場造成工事	H31.7-H31.12	金額及び負担割合・協議中		
新火葬場建設工事	H32.1-H33.9			
新火葬場開業準備	H33.10-H33.11		H33.12より供用開始予定	

※新火葬場周辺道路整備事業の金額及び負担割合についても協議中

富津市小・中学校
再配置計画(案)

天羽中と天羽東中、湊小と天神山小・竹岡小・金谷小、佐貫中と大貫中との学校再配置計画(案)については、保護者及び地区説明会が36回行われた。引き続き、協議が進められるところである。

(平成29年6月23日時点)

《議会からの意見》

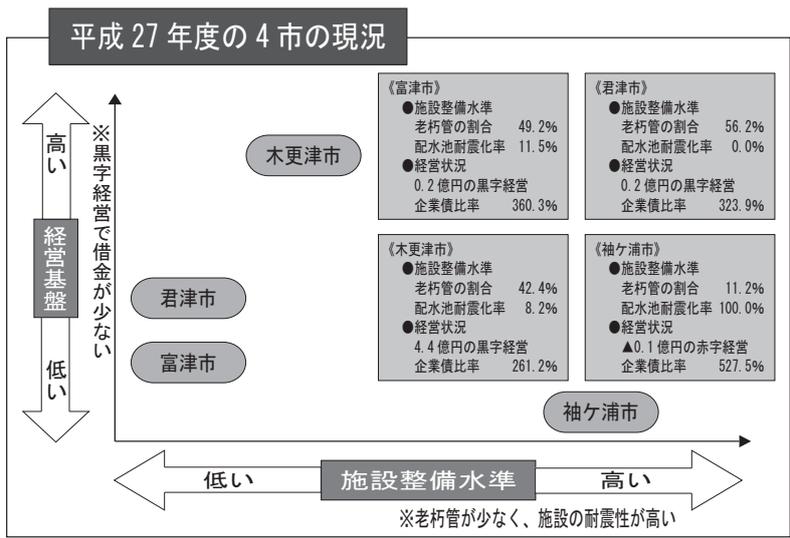
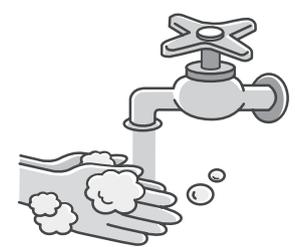
- ・平成31年度には再配置完了という期限を決めての計画進行ではなく、地域の理解を得ながら丁寧に進めて欲しい。
- ・再配置計画を進めることも大事だが、廃校となった地域の今後の在り方も地域住民にとって大きな関心事。企画課・都市政策課等が担当部署になるかと思うので、連携して同時に進めて行って欲しい。
- ・今回の計画で湊小に環小も含めるか、また金谷小を除くのかは地域住民の判断に委ねても良いのではないかな。…等

天羽中学校校舎改築については検討委員会が設けられ、天羽中・天羽東中(各校長・教頭・PTA会長)、湊小・天神山小・竹岡小・金谷小・環小(各PTA会長)、市小中学校長会長、天羽地区全体区長会長、市教育長・教育委員会、設計業者で、校舎の基本設計協議等を進めていく。

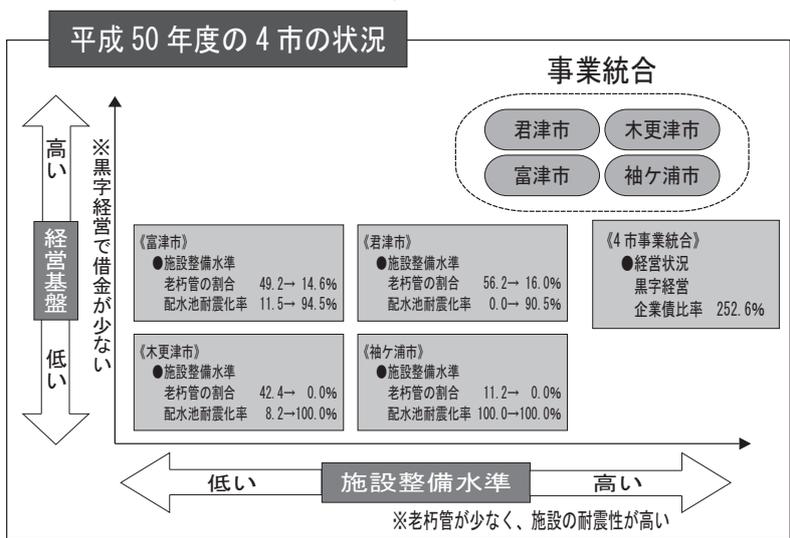
君津地域水道事業統合
広域化基本計画（案）

袖ヶ浦市を除く3市において老朽管の割合が50%前後と高く、また君津市と富津市においては耐震性が低い老朽管が多く残ることから、「安定給水の危機」に瀕しており、「施設整備水準の改善」を図る必要がある。
また、人口減少による水道利用者の

減少に伴い、このままでは現料金体系の維持は難しく、水道料金の値上げを検討せざるを得ない状況となる。
これらの課題を解決するために、4市の水道事業と企業団が一体となる組織を創設し、国からの交付金や各市からの出資金によって、施設の統廃合や老朽管の更新、料金体系の見直しを図っていく水道事業広域化計画を進めている。

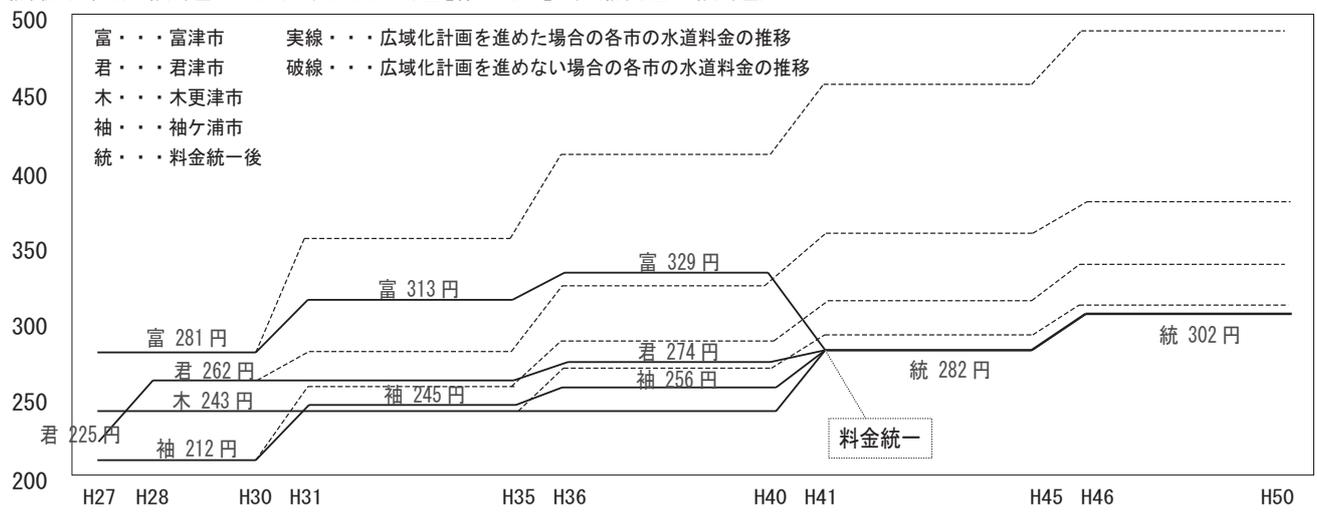


広域化による統合効果、交付金、出資金の活用



◎各市の水道料金の推移

供給単価（円 / m³）：有収水量 1 m³当たりで、どれだけの収益を得ているかを示す（給水収益 ÷ 有収水量）



*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）

人口減少と少子高齢化、 富津聖苑、有害鳥獣対策



石井 志郎
議員

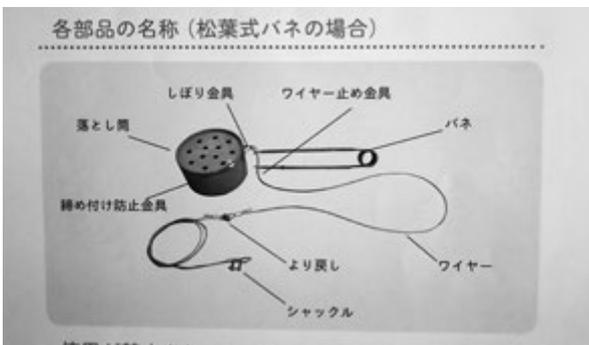
問 地域振興策と少子高齢化が進む過疎化地域への考えは。

市長 富津市創生総合戦略で4つの基本目標を設定し、基本的な施策の方向を掲げ、重要課題である年少人口減少抑制に向け取り組みをしている。地域振興は、雇用の創出、地場産業の振興、子育て支援の充実等を施策として掲げ総合戦略を着実に実行する事により多くの若者が地域に定着しそれが地域振興に繋がると考えている。

問 富津聖苑の現状は。

市長 平成5年に操業を開始、稼働から24年が経過し、本来であれば施設など大規模改修や補修が必要な時期になっているが4市広域火葬場整備に伴う富津聖苑閉鎖を踏まえ効率的で計画的な管理を行っている。平成30年2月から広域火葬場操業開始までの期間延長を本郷区と協議を進めている。

問 猪の捕獲方法と捕獲数が平成28年度、富津市では箱罠3231頭、くくり罠116頭、銃器28頭、君津市は箱罠2903頭、くくり罠859頭、銃器72頭、南房総市は箱罠3693頭、くくり罠1341頭、銃器88頭とあるが、くくり罠の解除に向けた考え方は。



効果が期待されるくくり罠
(千葉県イノシシ・ニホンジカわな捕獲マニュアルより)

市民と行政の合意形成の 方法について



渡辺 務
議員

問 市民と行政との合意形成の意義について伺う。

市長 市民との合意形成を図ることとは大切だ。それには市民と十分に意見交換をし、相互理解を深める必要がある。

問 その合意形成の手法については。

市長 市民の代表、事業者代表、関係行政機関などによる審議会や無作為に選んだ市民委員会、パブリックコメント、市民説明会などで対応しているところ。

問 市長の考える民意とは。

市長 現在の間接民主主義では、住民の代表である市長と議員を選出する選挙を通じて民意が市政に反映されると考える。

問 政策の決定過程の透明性とはどんなものか。

総務部長 案件の内容や状況に応じて、できる限り市民に情報提供することだと考えている。

問 合意形成を可能にする参加意識をどう醸成するべきと考えるか。

総務部長 事業の実施に際し合意に至る過程で、様々な場において住民の参画が満足度の向上につながると考える。

問 そこで天羽中学校の建て替えについて伺う。まだまだ議論を続

けるべきと考えるが、新たな校舎を建設するのであればひとつ大きなテーマを掲げてやってはいかか。天羽地区の生徒や保護者、地域の方々が参加して自分たちのまちづくりの一環として校舎建設に取り組めないか。例えば「校舎を木造で造ろう。」とか地域の住民が参加意識や愛着を持てる取り組みを採用すればワクワクするプロジェクトになるのではないかと。

教育部長 天羽中学校改築事業は基本設計を検討する委員会を設置した。関係する小学校のPTA会長や地区の区長会長、中学校長や設計委託をした設計事務所を含めて配置や構造などを含めて検討していく。



本年6月末、富津市小・中学校再配置計画が決定され進められる。市民との合意形成を十分に進めることが求められる。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

健福部長（健康福祉部長）

建経部長（建設経済部長）

市民活動活性のための サポート体制について

問 市民活動推進室を立ち上げたが、どのようなビジョンを描くか。

市長 市民活動は、市民の皆さんが自主的・自発的に行う公益的な活動である。市としては安心して市民活動ができるような環境づくりやネットワークを築いていきたいと考える。

問 具体的にはどのようなことを行うのか。

市民部長 まずは市民活動を行う方が万が一事故に遭われた際の補償制度や市有物の物品貸出制度の確立を図ろうと調整している。

問 その対象となる方は誰か。

市民部長 公益性のある行事を無報酬で自主的・自発的に行う社会貢献活動団体及び市長が別に定める団体で、市内に活動拠点を置く市民団体を対象とする予定。

問 市民活動団体同士のネットワーク構築は。

市民部長 市への団体登録制度を設け、市ホームページ上に、活動団体の紹介や告知事項、会員募集等の情報発信が出来るよう検討中。

問 子どもが小学校に上がると放課後に子どもを預かってもらう時



猪瀬 浩
議員

問 が短くなる「小1の壁」問題は共働き世代にとって問題である。放課後児童クラブ運営に対する市のビジョンは。

市長 今までは各クラブの特色ある保育を大切にという考えから、民設民営方式で進めてきた。しかしながら担い手となる保護者も減少しており、クラブのない学校もあることを考慮し、市が設置して委託や指定管理等で運営を行う方式も検討していきたいと考える。

問 支援員資格者が少ないということで運営に不安を感じているクラブもあるが、その対策は。

健福部長 市広報誌への求人記事の掲載や支援員資格取得のための研修会への参加を各クラブに照会する等、支援員の確保のためのサポートを行っている。

1. 放課後児童クラブの支援員補助として、2年間の経験を積む
 2. 教職員免許・保育士資格を持つ
 3. 大学において社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学、もしくは体育学を専攻する学科を卒業する
- 等、該当する方は、市を通して県主催の講習を受講し、支援員資格を有することが出来る。
詳しくは子育て支援課（0439-80-1256）までお問合せください。

放課後児童クラブ 支援員資格の取得方法

富津市まち・ひと・しごと 創生総合戦略の現状は

問 市のホームページにある「マチイロ」の説明と、平成27年度のこの登録者数は240名だが、平成28年度の登録者数は。

総務部長 「マチイロ」とは、民間企業がスマホなどに、広報紙等を無料配信しているアプリで、新聞をとっていなくても広報ふつつが見られる仕組みで、平成28年度の登録者数は310名。

問 高速バス関連施設の整備内容は。

市長 高速道路上のバスストップ、約100台収容の駐車場、アクセス道路としての市道浅間山線を計画。平成30年度完成に向け整備を進めている。浅間山線については交付金の交付状況を勘案し整備する。

問 あそこに降りてみたいと思わせるようなバスストップのデザインをしては。

建経部長 公募などで、市のイメージアップにつながるよう考えてみたい。

問 バスストップが完成すると上下合わせて132便が利用できる。事前の広報が大切と考えるが。



藤川 正美
議員

建経部長 バスストップの運用開始時期、高速バスの運用形態等、さまざまなデータを事前に広報紙やホームページなどでPRしたい。

問 市が進める「半農半X」とは。

建経部長 半自給的な農業と、やりたい仕事Xを両立させる生き方で、市として安価な地価を売りにし、豊かな自然の中での暮らしを発信し、移住者受け入れの環境整備を図りたい。

問 インターネットで「よろず支援拠点」を検索すると、その中に千葉県の酢之宮醸造所の動画がある。見た印象は。

建経部長 この動画をみると、「よろず支援拠点」の支援内容を知ることができる。この拠点は、国が全国に設置した経営相談所で、売上拡大、経営改善などあらゆる悩みに無料で相談に応じる。



木更津市羽鳥野の高速バスストップ。このバスストップの設置で、地域が大きく変貌した

高卒まで医療費助成を 国保税の引き下げ



松原 和江
議員

有害鳥獣、まち・ひと・しごと 創生総合戦略、小中学校について



高木 一彦
議員

問 「子育てしやすいまち日本」を掲げるなら、子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大する考えは。

市長 子育て支援策として有効な手段と考えるが、現状ではほかの支援策を優先させたい。

問 優先させたい支援策とは。

健福部長 地域子育て支援センター及び放課後児童クラブの開設等。

問 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大するには、いくら予算が必要か。

健福部長 約9百万円～1千万円。

問 県内で実施している自治体は。

健福部長 平成29年4月1日現在、4市8町1村。

問 昨年引き下げた国保税は、近隣市と比較してまだ一番高い。早急に引き下げるべきだが如何か。

市長 今年度は引き下げる予定はない。来年度から財政運営の責任主体が千葉県になり、県から標準保険料率が決定された時点で、市民に負担増とならないよう、引下げを含め検討する。

問 国保加入世帯の収入状況と一人当たり国保税額は。

健福部長 表1のとおり。

問 近隣3市の国保税は。

健福部長 表2のとおり。

問 平成28年度の決算見込みは。

健福部長 国保基金への積立額、

約2億4千万円。基金残高、約9億5600万円。一人当たり基金、6万7700円。

問 県内で一人当たり国保基金を多く持っている市は。

健福部長 平成27年度で、1番九十九里町、2番富津市。

問 東京行き高速バス停（高速竹岡と上総湊駅前）の存続問題でのJRバス関東との交渉状況は。

市長 バスストップ完成に向けて協議を重ねているが、最終的にはバス事業者の判断となる。

問 書面で要請したのか。現実には訪問し、相手側も認識している。

総務部長 書面ではない。現実には訪問し、相手側も認識している。

表1 国保加入世帯の平均所得と保険税（単位：円）

年 度	一世帯当たりの平均所得	一人当たりの国保税
2014（H26）	1,425,550	111,787
2015（H27）	1,392,271	111,613
2016（H28）	1,385,958	103,018

*2016年度は決算見込みの数値

表2 近隣市の国保税

2015（H27） 年度 決 算	自治体名		一人当たりの国保税
	木 更 津 市	君 津 市	
	袖 ヶ 浦 市		99,367
			96,929
			91,992

問 昨年からの有害鳥獣被害の推移、被害防止計画の目標の達成は。

市長 平成28年度被害状況は現在集計中だが、依然高い状況にあり、被害防止計画の軽減目標値は達成できない見込みである。また、今後の捕獲計画は、策定済みで、主な変更点は、「箱わな」にくわえて「くくりわな」の整備を図ることと、捕獲計画を捕獲実績を考慮して変更してある。

問 シカの被害の増加と処理施設の実証実験については。

建経部長 シカの被害は、前年度に比べ約60%の増加、特に天羽地区において目撃、被害が多くある。処理施設の実証実験は、7月から3カ月間豊岡地先の戸原ダム周辺で行い、導入は、検証結果を見た中で検討する。

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況、今後の予定は。

市長 昨年9月に実行計画を定め、5月上旬には、本年度の予算を反映した実行計画を更新した。今後、ご意見をいただきながら、着実な実行に取り組んでいく。

問 小・中学校再配置計画（案）、天羽中学校改築工事の後は。



戸原ダム地先で実証実験準備中

教育長 理解が深まったと判断した学校から個別計画（案）を提示して、再配置できるよう、条件整備に努めていく。天羽中学校校舎改築事業については、今年度中に基本設計、既存校舎の解体実施設計、改築実施設計、地質調査を完了させる予定。

問 湊小の中学生受入れの理解と天中改築検討委員会のメンバーは。

教育部長 湊小の新PTA役員へは詳しい説明をしていないので、近々伺う予定。天中校舎改築検討委員会に峰上地区のPTA会長等が入っていないだったので、検討していく。今後は、検討委員会での意見を反映した校舎建築を進めていく。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

市の公共事業の進め方 「学校の再配置」「火葬場移転」について

問 平成24年に市民から「天羽中学校新校舎建設に関する陳情」が4316筆の署名とともに提出されており、陳情理由に「近隣中学校との統合、再配置の将来的構想を勘案すると、新校舎を新しい土地に建設することが、天羽地区の子供たちにとって最も望ましいと確信する。」とあるが、それについて検討・調査等されたか。

教育部長 天羽中学校校舎の建て替えについては、富津市小・中学校再配置計画(案)とは別事業で、

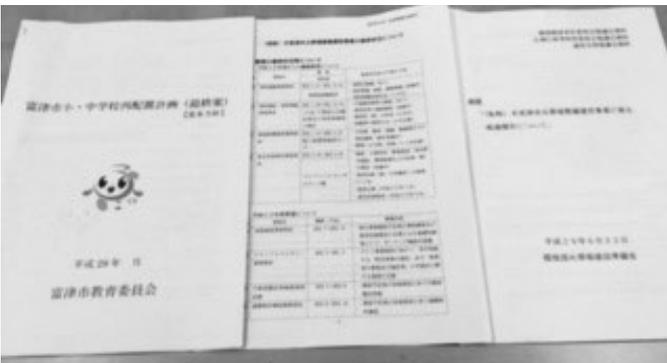
校舎の老朽化に伴うもの。天羽中学校校舎の建設に当たっては、陳情書にあった新たな土地に移転、新築するプランについても検討したが、移転先選定から用地買収などに要する期間、また、敷地造成、体育館や武道場の建設などに膨大な費用がかかることから、生徒の安全で快適な学習環境の早期整備を最優先に考え、既存敷地内での改築とした。

問 「市民参加のまちづくり」ということであれば、いつ、どこで市民の意見に耳を傾けるつもりか。
市長 将来にわたって質の高い火葬場のサービスを市民の方に継続



千倉 淳子
議員

的に、そして安定的に提供していく必要があるということが、私のこの判断のまず第一、そして、本郷区との覚書もあった。これは決して本郷区の方のわがままではなくて、行政と地区の約束を守るということが第一。財政的にも、どの市も厳しい中で広域行政は進んでいる。負担軽減から市民全体のメリットになると判断し、市議会の皆様とも協議をし、進めてきたと認識している。



富津市小・中学校再配置計画【基本方針】が決定した

富津市の財政について

問 5月11日、政府の財政諮問会議における地方行財政改革の議論の中で、地方自治体の基金積立残高が21兆円にも達している、地方では使いきれない財源が積み上がっているのではないかと、顕著に増加している自治体については、実態と背景を分析し、自治体が説明責任を果たすよう促すと共に、地方交付税についてはトップランナー方式の適用拡大により、削減も検討すべきではないかとの提案がなされ、安倍首相からも地方における各種基金等の実態を分析し、地方行財政改革の動きを加速してほしいと指示があったと報道された。富津市の平成25年度末、財政調整基金残高は、約2億円と発表されたが、平成28年度末の、財政調整基金及び一般会計に属する基金の残高見込みについて伺う。

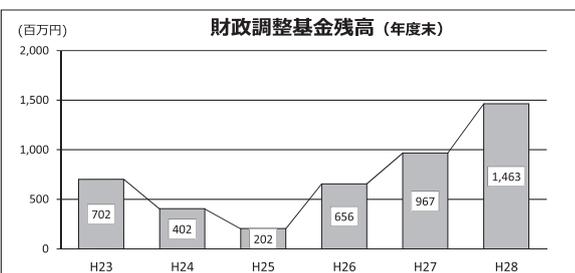
市長 平成28年度末の財政調整基金残高見込みは、14億6300万円である。財政調整基金以外の一般会計に属する基金については、平成28年度末の残高見込みが4億9400万円で、このうち公共施設維持管理基金の残高は2億円である。

問 財政調整基金については、経営改革プランの目標値として平成31年度まで11億円を積み立てるとしており、既に14億以上積み立てたとのことだが、政府の動きもある中、財政調整基金については、どのぐらいまで積み立てるのか、また、幾らぐらいが適正額と考えるか。



三木 千明
議員

総務部長 県内各市の財政調整基金の平成27年度末の積立状況は、県内37市の平均で52億600万円、また、県内の人口や産業構造に近い類似団体8市の平均は23億2000万円である。適正額については、今後の収支見込みの状況や県内市の水準等を勘案の上、検討したい。



観光大使委嘱状交付式



4月17日にマザー牧場において、富津市観光大使委嘱状交付式が行われました。平野明彦議長、平野英男総務産業常任委員長、諸岡副委員長が出席しました。

竹岡小児童議場見学



4月25日に竹岡小学校3年生児童10名が、市役所へ社会科見学に訪れ、議事堂では実際に議員席に座り、質問の仕方等を勉強しました。

全国市議会議長会総会



5月24日に東京国際フォーラムにおいて、第93回全国市議会議長会定期総会が開催され、富津市提出議案について平野議長が説明を行い、審議の結果採択されました。

環小児童議場見学



5月31日に環小学校3年生児童14名が、市役所へ社会科見学に訪れました。議事堂では市議会の仕組みや制度について、三木広報委員から説明を受けました。

消防操法大会



6月3日に第24回富津市消防団消防操法大会が、富津市消防防災センターで開催され、平野明彦議長・平野英男・三木・諸岡の各消防委員が、消防団員を激励しました。

マザー牧場視察



7月10日にマザー牧場において、新施設（ファームダイナー）完成に伴う視察研修会を実施しました。各議員が出席し、概要説明を受けました。

ぜひ、議会傍聴に！

9月定例会日程

8月30日（水）	10時	開会
		議案の上程
9月6日（水）	9時30分	一般質問
7日（木）	9時30分	一般質問
8日（金）	10時	議案質疑
11日（月）		予備日
13日（水）		常任委員会
14日（木）		常任委員会
20日（水）		決算審査特別委員会
21日（木）		決算審査特別委員会
22日（金）		決算審査特別委員会
28日（金）	10時	議長報告 議案審議 閉会

※日程は変更になることがありますので、議会事務局（80・1331）へお問い合わせください。

【編集後記】

「君がなんとなく生きた今日は、昨日死んでいった人たちが、どうしても生きたかった大切な明日だ。」アメリカ先住民に伝わる言葉だという。平成28年4月に富津市議会議員選挙が執行されてから1年以上が経過し、今年も既に半年が過ぎた。果たして、先の言葉を体現できているだろうか。

「いつまでも生きられるように働き、すぐに死ぬかもしれないように生きなさい」スペインの格言だという。羅列し目にするだけでなく、常に胸に刻み意識したい。
(ちあき)